		平成3	0年度連行	分糸統	引利用美丽 	態(公表シート)					
系統名		大久保線		事業者名		遠州鉄道株式会	社				
路線の状況	起点	経由地	終点								
近日初水ツイベルし	浜松駅	狸坂	山崎								
系統‡□程	( k m)	17.7	輸送量(2	人/日)	23.7						
平均乗車密度	(人/便)	4.1	運行回数	(回/日)	5.8						
ァ ア カ サ	学校	浜松学院大学、	浜松北高校、開調	<b>成館高校、浜村</b>	公市立高校、浜	公商業高校、静岡大学附属小・中学校	、富塚小・中学校、神久呂中学校				
フ・ セ <sub>枷</sub>	病院										
人点	商業施設										
况 施 況 設	その他	浜松市役所、	JR浜松駅								
収支率(%) (収益/費用)	48	.8	乗車人員	(人)		72,824					
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 1 バス停13	名称	拠点:JR浜松駅バ バス停:田町中央:		市役所南、鹿谷町	、浜松北高、富塚、富塚西、狸坂、神ヶ谷西雪	平、大久保東				
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利)		7.0									
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線パス P R。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスパスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券(バス運賃+入館料等)を販売。										
費用削減策	・営業所の営業時・60歳以上の乗材 【実績】 ・デジタルタコグラフ滅に努めた。・営業窓口の改総・60歳以上の乗移・バスに搭載してい	7のデータを使って、 時間の変更や窓口 務員の再雇用制度 7から得られたデータ 編を実施して、間接 務員の再雇用を強	の閉鎖を行うことに その普及を進めるこの でを、半自動的にか に部門の人件費抑化した。また、人身 イヤデータの注入だ	より、間接部に とにより、直接 ロエするソフトを 制に努めた (3 事部に設置され	門人件費の抑制 人件費の抑制を を活用して分析を 平成30年6月に たに運転者採用		を実施。燃料費の削減や事故の撲				
沿線市町の サポート	別紙のとおり										
利用実態	広域利用状況アクセス拠点	₹(%) 100	口程(km) 50 000 (人)	1500	30 運行	均乗車密度(人/便) f回数(回/日)					

		平成30年	度運行分	系統別利	用実態(	公表シー	<b>卜</b> )	様式2		
系統名		大久保線		事業者名		遠	<b>遠州鉄道株</b> 式	式会社		
四分 の上ご	起点	経由地	終点							
路線の状況	浜松駅	狸坂	田端住宅							
系統キ□程	( k m)	12.9	輸送量(	人/日)	23.5					
平均乗車密度	(人/便)	4.2			5.6					
アムア共	学校	浜松学院大学  校、富塚小・ロ			5校、浜松市	立高校、浜	松商業高校	、静岡大学附属小・中学		
フ・ セ <sub>枷</sub>	病院									
人点	商業施設									
况 施 況 設	その他	浜松市役所、	JR浜松駅							
収支率(%) (収益/費用)	59	.5	乗車人員	(人)			72,909	)		
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 1 バス停10	名称	拠点:JR浜松駅 バス停:田町中央		5役所南、鹿谷町	「、浜松北高、富	塚、富塚西、狸	坂、神ヶ谷西平、大久保東		
広域利用状況(他市町へ跨ぐ利		0.2								
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線バス P R 。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスパスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券(バス運賃+入館料等)を販売。									
費用削減策	・営業所の営業時・60歳以上の乗続 【実績】 ・デジタルタコグラフ減や事故の撲滅・・営業窓口の改総・60歳以上の乗き・パスに搭載してい	7のデータを使って、 時間の変更や窓口 務員の再雇用制度 のから得られたデータ に努めた。 記を実施して、間接 務員の再雇用を強	の閉鎖を行うことに 変の普及を進める。 タを、半自動的に 深部門の人件費抑 能化した。また、人! イヤデータの注入:	こより、間接部にことにより、直接のエするソフトを可制に努めた (3事部に設置された)	引人件費の抑制 人件費の抑制を 法用して分析を 平成30年6月に た「運転者採用	川を図る。 を図る。 を行い、その結: こ2つの窓口を 日専門チーム」(3	果を使って運転 1つに統合)。 こて、採用活動			
沿線市町の サポート	別紙のとおり									
利用実態										

		平成30年	度運行分差	系統別利	用実態(	公表シート)		様式2				
系統名		伊佐見線		事業者名		遠州	鉄道株式会社					
	起点	経由地	終点									
路線の状況	浜松駅	伊佐見橋	山崎									
系統+口程	( k m)	16.6	輸送量(	人/日)	49.5							
平均乗車密度	(人/便)	4.5	運行回数	(回/日)	11.0							
ア共	学校	浜松北高校、	北高校、開誠館高校、浜松市立高校、海の星高校、広沢小学校、伊佐見小学校									
せ thin	病院	浜松病院、医	療センター、湖	東病院								
人点	商業施設											
况 施 況 設	その他	浜松市役所、	JR浜松駅									
収支率(%) (収益/費用)	56	.6	乗車人員	(人)			168,159					
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 1 バス停12	名称	拠点:JR浜松駅/ バス停:田町中央 古人見東、山崎		7役所南、鹿谷町	」、医療センター、佐鳴	岩台五丁目、富塚西、	狸坂、神田原、伊佐見橋、				
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		2.0										
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線バス P R 。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスパスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券(バス運賃+入館料等)を販売。											
費用削減策	・営業所の営業時・60歳以上の乗続 [実績] ・デジタルタコグララ 減や事故の撲滅・営業窓口の改総・60歳以上の乗き・バスに搭載してい	7のデータを使って、 時間の変更や窓口 務員の再雇用制度 7から得られたデーク に努めた。 記を実施して、間接 務員の再雇用を強	の閉鎖を行うことに 変の普及を進めるこ のを、半自動的に加 に部門の人件費抑 化した。また、人間 イヤデータの注入フ	こより、間接部門ことにより、直接 加工するソフトを 開に努めた (3 事部に設置され 方法、メモリーカ	引人件費の抑制 人件費の抑制 活用して分析 P成30年6月に た「運転者採用	制を図る。 を図る。 を行い、その結果を こ2つの窓口を1つ 用専門チーム」にて、	使って運転方法の: に統合)。 採用活動の強化を	費の抑制につなげる。 指導を実施。燃料費の削 を図った。 なデータ入れ替えが可能と				
沿線市町の サポート	別紙のとおり											
利用実態	広域利用状況アクセス拠点	(箇所)20	口程(km) 50 000 (人)	150	30 運	平均乗車密度(ノ 行回数(回/日)	【/便)					

-		平成30年		<b>米</b>	用表態(	公表シート)	様式2						
系統名		浜名線		事業者名		遠州鉄道株式会社							
四分 小上 ご	起点	経由地	終点										
路線の状況	浜松駅	舞阪協働 センター	湖西 市役所			T							
系統+□程	( k m)	22.5	輸送量(	(人/日)	23.9								
平均乗車密度	(人/便)	5.2	運行回数	(回/日)	4.6								
ァ ア カ	学校	可美中学校、	篠原小学校、	新居小学校	ξ								
せも	病院	湖西病院											
ス 点 状 塩	商業施設												
況設	その他	スズキ、湖西市	スズキ、湖西市役所、舞阪協働センター、JR浜松、高塚駅、舞阪駅、弁天島駅、新居町駅、鷲津駅										
収支率(%) (収益/費用)	55	.8	乗車人員	(人)		100,407							
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 4 バス停 5	名称	拠点:JR浜松駅 バス停:成子坂、										
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利)		12.5											
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線バス P R。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスパスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券(バス運賃 + 入館料等)を販売。												
費用削減策	●事業者としての取組 [計画] ・デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで燃費改善を図るとともに燃料費の抑制につなげる。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。  【実績】 ・デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や事故の撲滅に努めた。 ・営業窓口の改編を実施して、間接部門の人件費抑制に努めた(平成30年6月に2つの窓口を1つに統合)。 ・60歳以上の乗務員の再雇用を強化した。また、人事部に設置された「運転者採用専門チーム」にて、採用活動の強化を図った。 ・バスに搭載している音声データやダイヤデータの注入方法、メモリーカード方式から金庫方式に変更したことにより、日常的なデータ入相替えが可能と												
沿線市町の サポート	別紙のとおり												
利用実態	なった。結果、データの注入に要する時間を削減した。												

		平成30年	度連行分差	<b>糸統別利</b>	用実態(	公表シート)	様式2 					
系統名		笠井高台線		事業者名		遠州鉄道株式会社						
<b>収</b> 値の出泊	起点	経由地	終点									
路線の状況	浜松駅	笠井上町	山東									
系統+□程	( k m)	24.3	輸送量(	人/日)	19.0							
平均乗車密度	(人/便)	5.3	運行回数	(回/日)	3.6							
ア共	学校	西遠学園、天	竜高校、清滝	5中学校、与	進小学校							
ク・ セ ****	病院	労災病院	病院									
人点	商業施設	浜松プラザ	コプラザ									
况 施 況 設	その他	浜松市天竜区	松市天竜区役所、JR浜松駅、遠鉄西鹿島駅									
収支率(%) (収益/費用)	60	.6	乗車人員	(人)		71,434						
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停14	名称	拠点: JR浜松駅バスターミナル、遠鉄西鹿島駅 バス停: 広小路、労災病院、宮竹、原島、市野上、恒武、笠井本町、笠井上町、東河原上、南中瀬、鹿島橋、和 矩美術館入口、二俣横町、山東									
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		7.3	7.3									
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス (ICカード) へのオートチャージ (自動積増) の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線バス P R。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスパスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券(バス運賃+入館料等)を販売。											
費用削減策	・営業所の営業時・60歳以上の乗にましている。 (実績) ・デジタルタコグラ 削減や事故の撲・営業窓口の改終・60歳以上の乗・バスに搭載してい	フのデータを使って、 寺間の変更や窓口 務員の再雇用制度 フから得られたデー 滅に努めた。 扁を実施して、間接 務員の再雇用を強	の閉鎖を行うこと きの普及を進める タを、半自動的に 会部門の人件費担 な化した。また、人 イヤデータの注入	により、間接部ことにより、直接加工するソフトを 即間に努めた( 事部に設置された、メモリーカ	門人件費の抑制 人件費の抑制 を活用して分析 平成30年6月1 なに運転者採F		を実施。燃料費の					
沿線市町の サポート	別紙のとおり											
利用実態	別紙のとおり  系統キロ程(km) 輸送量(人/日) 150  広域利用状況(%) 100  アクセス拠点(箇所)20  300,000  100  運行回数(回/日)											

		平成30年	度運行分差	系統別利	用実態(	公表シート)	様式2					
系統名	浜北	医大三方原聖	隷線	事業者名		遠州鉄道株式会社						
	起点	経由地	終点									
路線の状況	三方原	染地台	浜北									
	<u>聖隷</u> ( k m)	なゆた浜北 18.2	区役所 輸送量(	人/日)	40.4	7						
平均乗車密度		4.7	運行回数		8.6							
ア公	学校											
ク共	病院		妻三方原病院									
セ ル ス 点												
状 施 況 設	その他	海松市海北区			·····································							
収支率(%)	52		乗車人員			95,073						
(収益/費用)			拠点:遠鉄小松馬									
乗換可能なアクセス拠点等	拠点 2 バス停13	名称		原病院、根洗、		口、曳馬野、浜工高前、三方原営業所、半田、環	状線入口、染地台3					
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利)		53.8										
増収策	●事業者としての取組 [計画] ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線バス P R。 [実績] ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスパスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券(バス運賃+入館料等)を販売。											
費用削減策	・営業所の営業時・60歳以上の乗続 [実績] ・デジタルタコグララ 減や事故の撲滅・営業窓口の改総・60歳以上の乗き・バスに搭載してい	7のデータを使って、 時間の変更や窓口 務員の再雇用制度 7から得られたデータ に努めた。 記を実施して、間接 務員の再雇用を強	の閉鎖を行うことに 変の普及を進めるこ タを、半自動的にた 辞部門の人件費抑 能した。また、人類 イヤデータの注入ス	こより、間接部門ことにより、直接 加工するソフトを 即制に努めた (3 事部に設置され 方法、メモリーカ	引人件費の抑制 人件費の抑制 法用して分析。 平成30年6月に た「運転者採用		実施。燃料費の削 。					
沿線市町の サポート	別紙のとおり											
利用実態	広域利用状況アクセス拠点	(箇所)20	口程(km) 50 000 (人)	150	30 運行	平均乗車密度(人/便) 行回数(回/日)						

		平成30年	<b>送連行分</b> 為	<b>糸統別利</b>	用実態(	公表シート)	様式2		
系統名		渋川線		事業者名		遠州鉄道株式会社			
	起点	経由地	終点						
路線の状況	浜松駅	追分	渋川儀光						
系統キ□程	( k m)	36.3	輸送量(	人/日)	25.5				
平均乗車密度	(人/便)	5.8	運行回数	(回/日)	4.4				
ァ ア カ サ	学校	静岡大学、浜	松北高校、浜	松市立高校	交、開誠館高	校、浜松湖北高校、北星中学校	交		
セサ┉	病院	聖隷浜松病隊	<u> </u>						
ス 点 状 塩	商業施設								
況設	その他	浜松市役所、	JR浜松駅、天	<b>電浜名湖</b> 銀	失道金指駅				
収支率(%) (収益/費用)	52	.8	乗車人員	(人)		95,764			
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停18	名称		で通り、ゆりの木道	<b>動、元城町、市役</b>	全指駅 没所南、鹿谷町、浜松北高、六間坂上、住き 比高校前、井伊谷、渋川	吉町、和合町、葵町、追		
広域利用状況(他市町へ跨ぐ利		27.8							
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線バス P R。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスパスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券(バス運賃+入館料等)を販売。								
費用削減策	・営業所の営業時・60歳以上の乗りに受ける。 (実績) ・デジタルタコグラブ 削減や事故の撲・営業窓口の改終・60歳以上の乗りが入に搭載してい	7のデータを使って、 時間の変更や窓口 務員の再雇用制度 アから得られたデーク 滅に努めた。 扁を実施して、間接 務員の再雇用を強	の閉鎖を行うことを 変の普及を進める。 タを、半自動的に 会部門の人件費担 能化した。また、人 イヤデータの注入	により、間接部ことにより、直接加工するソフトを 即間に努めた( 事部に設置された、メモリーカ	門人件費の抑制: 人件費の抑制: を活用して分析: 平成30年6月に ないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		導を実施。燃料費の 図った。		
沿線市町の サポート	別紙のとおり								
利用実態	広域利用状況アクセス拠点	元 <sup>(%)</sup> 100 (箇所) <sub>20</sub>	口程(km) 50 000 (人)	150	30 運行	均乗車密度(人/便) fp回数(回/日)			

		平成30年	度運行分	系統別利	用実態(ど	〉表シート)	様式2					
系統名		渋川線		事業者名		遠州鉄道株式会社						
四分 小上 コ	起点	経由地	終点									
路線の状況	浜松駅	追分	伊平									
系統‡□程	( k m)	21.8	輸送量(	(人/日)	42.1							
平均乗車密度	(人/便)	5.7	運行回数	(回/日)	7.4							
アムア共	学校	静岡大学、浜	松北高校、浜	松市立高校	、開誠館高校	、浜松湖北高校、北星中学校	:					
フ・ セ <sub>tm</sub>	病院	聖隷浜松病院	ਦੇ									
人点	商業施設											
祝 施 況 設	その他	浜松市役所、	市役所、JR浜松駅、天竜浜名湖鉄道金指駅									
収支率(%) (収益/費用)	67	.2	乗車人員	〕(人)		119,530						
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停17	名称	バス停 : 田町中央	通り、ゆりの木通り	電浜名湖鉄道金指 )、元城町、市役所 日、引佐高校前、井	 南、鹿谷町、浜松北高、六間坂上、住吉6	町、和合町、葵町、追分、					
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		26.2										
増収策	●事業者としての取組 [計画] ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 [実績] ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスパスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券(バス運賃+入館料等)を販売。											
費用削減策	・営業所の営業時・60歳以上の乗都 [実績] ・デジタルタコグラフ減や事故の撲滅は・営業窓口の改総・60歳以上の乗る・バスに搭載してい	のデータを使って、 時間の変更や窓口 条員の再雇用制度 から得られたデーク こ努めた。 記を実施して、間接 条員の再雇用を強	の閉鎖を行うことに 変の普及を進める。 9を、半自動的に 部門の人件費抑化した。また、人!! イヤデータの注入.	こより、間接部門ことにより、直接。加工するソフトを 即制に努めた(平事部に設置され 方法、メモリーか・	引人件費の抑制を 人件費の抑制を図 活用して分析を行 平成30年6月に2 た「運転者採用専		導を実施。燃料費の削 った。					
沿線市町の サポート	別紙のとおり											
利用実態	広域利用状況アクセス拠点	(箇所)20	口程(km) 50 000 (人)	150	30 運行	可乗車密度(人/便) 可数(回/日)						

	平成30年	<b>皮連行分</b> :	<b>糸</b> 統別村。	用美態(	公表シート)	様式2					
	城之崎線		事業者名		遠州鉄道株式会社						
起点	経由地	終点									
磐田駅	東新町	浅羽中学									
( k m)	11.0	輸送量(	(人/日)	20.8							
(人/便)	3.2	運行回数	(回/日)	6.5							
学校	浅羽中学校、	l中学校、浅羽北小学校									
病院											
商業施設											
その他	袋井市浅羽支	所、NTT磐E	田製作所、JF	R磐田駅							
47	.3	乗車人員	(人)		53,746						
拠点 1 バス停 5	名称			冢、東新町、新出	ł						
	13.9										
●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線パス P R。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスパスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券(バス運賃+入館料等)を販売。											
【計画】 ・デジタルタコグラブ・営業所の営業時・60歳以上の乗犯 【実績】 ・デジタルタコグラブ減や事故の撲滅・営業窓口の改総・60歳以上の乗犯・バスに搭載してい	・デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで燃費改善を図るとともに燃料費の抑制につなげる。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。										
別紙のとおり											
系統キロ程(km)											
	響田駅 (km) (km) (km) (km) (km) (km) (km) (km)	城之崎線 起点 経由地 磐田駅 東新町 (km) 11.0 (km) 11.0 (km) 3.2 学校 浅羽中学校、 病院 商業施設 その他 袋井市浅羽寸 47.3  拠点 1 バス停 5 名称 3.9  ●事業者としての取組 [計画]・運賃箱データにより、遅れ・利用人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	規定   規定   接信   接信   接信   接信   接信   接信   接信   接	規之崎線   事業者名   起点   経由地   終点   整田駅   東新町   浅羽中学   浅羽中学   (km)   11.0   輸送量 (人/日)   (人/便)   3.2   運行回数 (回/日)   学校   浅羽中学校、浅羽北小学校   病院   商業施設   その他   袋井市浅羽支所、NTT磐田製作所、JF   47.3   乗車人員 (人)   拠点 1	城之崎線   事業者名   起点   経由地   終点   軽田駅   東新町   浅羽中学   (km)   11.0   輸送量 (人/日)   20.8   (人/伊)   3.2   運行回数 (回/日)   6.5   学校   浅羽中学校、浅羽北小学校   病院   商業施設   その他   袋井市浅羽支所、NTT磐田製作所、JR磐田駅   47.3   乗車人員 (人)   拠点 1	起点 経由地 終点 第田町 浅羽中学 (km) 11.0 輸送量 (人/日) 20.8 (人/伊) 3.2 連行回数 (回/日) 6.5 学校 浅羽中学校、浅羽北小学校 (個/日) 6.5 学校 浅羽中学校、浅羽北小学校 病院 商業施設 その他 袋井市浅羽支所、NTT磐田製作所、JR磐田駅 47.3 乗車人員 (人) 53,746 拠点 「バス停ち 名称 「バスルルカード・ 「日動機関」の利用促進、近路 「バスルルカード・ 「日動機関」の利用促進、「ボースル・ 「インルル・ 「インル・ 「インルル・ 「インルルル・ 「インルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルル					

		半成304	丰度連行分	<b>分</b> 統別本	川用実態	(公表シート)	様式2 					
系統名	磐日	日市立病院福E	田線	事業者名		遠州鉄道株式	会社					
D女(中の小)2日	起点	経由地	終点									
路線の状況	磐田市立 病院	磐田駅	豊浜 郵便局		T							
系統‡□程(	( k m)	19.6	輸送量(	人/日)	65.5							
平均乗車密度	(人/便)	4.2	運行回数	(回/日)	15.6		1					
ア共クサ	学校	磐田南高校、	磐田北小学校	<u>ξ</u>								
セ枷	病院	新都市病院、	都市病院、磐田市立病院									
人点	商業施設											
沃 施 況 設	その他	磐田市役所、	磐田市福田支	ī所、JR磐田	駅							
収支率(%) (収益/費用)	54	.9	乗車人員	(人)		218,035	i					
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 1 バス停11	名称	拠点:JR磐田駅 バス停:磐田市立 所	病院、大久保東	原、二階家、井戸	「ヶ谷、磐田北小、西坂町、加茂川、	新道、前嶋、福田交番前、福田営業					
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利用		29.8										
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線バス P R。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスパスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券(バス運賃+入館料等)を販売。											
費用削減策 一費用削減策 治線市町の	●事業者としての取組 [計画] ・デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで燃費改善を図るとともに燃料費の抑制につなげる。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。  【実績】 ・デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や事故の撲滅に努めた。 ・営業窓口の改編を実施して、間接部門の人件費抑制に努めた(平成30年6月に2つの窓口を1つに統合)。 ・60歳以上の乗務員の再雇用を強化した。また、人事部に設置された「運転者採用専門チーム」にて、採用活動の強化を図った。 ・バスに搭載している音声データやダイヤデータの注入方法、メモリーカード方式から金庫方式に変更したことにより、日常的なデータ入れ替えが可能となった。結果、データの注入に要する時間を削減した。											
サポート	別紙のとおり	<b>亚</b> 伏士	口担(()	<b></b>	€量(人/日)							
利 用 実 態	広域利用状況アクセス拠点	(箇所)20	口程(km) 50 000	150	30 運行	均乗車密度(人/便) 可回数(回/日)						
		300, 乗車人員			) 支率(%)							

		平成30年	度運行分:	系統別利	用実態(2	公表シート)		様式2			
系統名		中ノ町磐田線		事業者名		遠州鉄道	株式会社				
	起点	経由地	終点		•						
路線の状況	浜松駅	中ノ町	磐田 営業所								
系統‡□程	( k m)	17.4	輸送量(	(人/日)	116.2						
平均乗車密度	(人/便)	5.7	運行回数	(回/日)	20.4						
アムア共	学校	西遠学園、磐	田西高校、磐	田南高校、	中ノ町小学校	、磐田西小学校					
フ・ セ <sub>tm</sub>	病院										
人点	商業施設										
况 施 設	その他	磐田市役所、	JR浜松駅、JI	R磐田駅							
収支率(%) (収益/費用)	67	.5	乗車人員	(人)		376	,407				
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停 8	名称	拠点:JR浜松駅 バス停:広小路、			<b>克川、見付、富士見町、</b> 象	<b>等田営業所</b>				
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		12.0									
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線バス P R 。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスパスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券(バス運賃 + 入館料等)を販売。										
費用削減策	・営業所の営業時・60歳以上の乗れ 「実績】 ・デジタルタコグラン 減や事故の撲滅が ・営業窓口の改組 ・60歳以上の乗れ ・バスに搭載していなった。結果、デー	7のデータを使って、 時間の変更や窓口 務員の再雇用制度 のから得られたデータ こ努めた。 最を実施して、間接 務員の再雇用を強	の閉鎖を行うことを 変の普及を進める。 タを、半自動的に 会部門の人件費打 能化した。また、人 イヤデータの注入:	こより、間接部にことにより、直接かれてするソフトをかけに努めた(手事部に設置された、メモリーな	門人件費の抑制: 人件費の抑制を 立活用して分析を 平成30年6月に た「運転者採用!		運転方法の指導を 合)。 活動の強化を図った	:実施。燃料費の削 こ。			
サポート	別紙のとおり										
利用実態	広域利用状況アクセス拠点	(箇所)20	口程(km) 50 0000	1500	10 平: 30 運行	均乗車密度(人/便 ・回数(回/日)	Ē)				

		平成30年	<b>送連行分</b>	<b>糸統別利</b>	用実態(2	公表シート)	<b>棣式2</b>				
系統名		北遠本線		事業者名		遠州鉄道株式会社					
<b>吹</b> 約かはご	起点	経由地	終点								
路線の状況	西鹿島駅	横山車庫	水窪町			,					
系統キ□程	( k m)	51.9	輸送量(	人/日)	15.5						
平均乗車密度	(人/便)	3.1	運行回数	(回/日)	5.0						
ァ 公 ァ 共 ク	学校	天竜高校、清	滝中学校、光	が丘中学校	、横山小学村	<del></del>					
セ゠	病院										
人点	商業施設										
况 施 況 設	その他	浜松市天竜区	区役所、龍山協	3働センター、	水窪協働セ	ンター、遠鉄西鹿島駅、JR飯田線	<b>津村月駅、水窪駅</b>				
収支率(%) (収益/費用)	24	.7	乗車人員	(人)		25,746					
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停 4	名称	拠点:遠鉄西鹿島 バス停:鹿島橋、 <sup>5</sup>		入口、二俣横町、	山東					
広域利用状況(他市町へ跨ぐ利		34.1	34.1								
増収策	【計画】 ・運賃箱データに。 ・小学生向けバス ・ナイスパス(ICが ・パーク&ライド、・ ・遠鉄ストアでのが 【実績】 ・3月にダイヤ改正 ・主に小学2年生 ・小学生向けの「いったんてつカードかり	・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線バス P R。									
費用削減策 沿線市町のサポート	●事業者としての取組 [計画] ・デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで燃費改善を図るとともに燃料費の抑制につなげる。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。  【実績】 ・デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や事故の撲滅に努めた。 ・営業窓口の改編を実施して、間接部門の人件費抑制に努めた(平成30年6月に2つの窓口を1つに統合)。 ・60歳以上の乗務員の再雇用を強化した。また、人事部に設置された「運転者採用専門チーム」にて、採用活動の強化を図った。 ・バスに搭載している音声データやダイヤデータの注入方法、メモリーカード方式から金庫方式に変更したことにより、日常的なデータ入れ替えが可能となった。結果、データの注入に要する時間を削減した。										
利用実態		ま。結果、データの注入に要する時間を削減した。 (ぶのとおり)  系統キロ程(km) 輸送量(人/日) 150  成利用状況(%) 100  平均乗車密度(人/便)  セス拠点(箇所) 20  300,000  乗車人員(人) 即支薬(%)									

		平成30年		<b>糸</b> 統別利	用美態(2	公表シート)	<b>禄式2</b>					
系統名		北遠本線		事業者名		遠州鉄道株式会社						
Dを作っまい口	起点	経由地	終点									
路線の状況	西鹿島駅	横山車庫	唐沢									
系統キ□程	( k m)	19.7	輸送量(	人/日)	15.5							
平均乗車密度	(人/便)	3.0	運行回数	(回/日)	5.0							
ァ ア カ カ	学校	天竜高校、清	滝中学校、光	が丘中学校	、横山小学校	ξ						
セ゠	病院											
<u> </u>	商業施設											
状施 況 設	その他	浜松市天竜区	区役所、遠鉄西	5鹿島駅								
収支率(%) (収益/費用)	37	.0	乗車人員	(人)		24,894						
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 1 バス停 4	名称	拠点:遠鉄西鹿島 バス停:鹿島橋、		八口、二俣横町、	山東						
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利)		17.4										
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線バス P R 。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校											
費用削減策	●事業者としての取組 【計画】 ・デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで燃費改善を図るとともに燃料費の抑制につなげる。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 【実績】 ・デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や事故の撲滅に努めた。 ・営業窓口の改編を実施して、間接部門の人件費抑制に努めた(平成30年6月に2つの窓口を1つに統合)。 ・60歳以上の乗務員の再雇用を強化した。また、人事部に設置された「運転者採用専門チーム」にて、採用活動の強化を図った。 ・バスに搭載している音声データやダイヤデータの注入方法、メモリーカード方式から金庫方式に変更したことにより、日常的なデータ入れ替えが可能となった。結果、データの注入に要する時間を削減した。											
サポート	別紙のとおり 	<b>亚</b> 统士	<b>□ </b>	あるこ	¥루(  /ㅁ)							
利用実態	広域利用状況アクセス拠点	(箇所)20	口程(km) 50 ,000 (人)	150	10 平30 運行	均乗車密度(人/便) ・ ・回数(回/日)						

	T	平成30年		<b>糸</b> 統別利	用美態(:	公表シート)	様式2				
系統名		秋葉線		事業者名		遠州鉄道株式会社					
路線の状況	起点	経由地	終点								
は合称の4人が、	春野車庫	_	西鹿島駅			_					
系統+口程	( k m)	23.4	輸送量(	人/日)	20.0						
平均乗車密度	(人/便)	4.1	運行回数	(回/日)	5.0						
アサ	学校	天竜高校、天	竜高校春野核	交舎、清滝中	学校、光が匠	丘中学校					
t thin	病院										
人点	商業施設										
况 施 況 設	その他	浜松市天竜区	区役所、遠鉄西	5鹿島駅							
収支率(%) (収益/費用)	45	.4	乗車人員	(人)		61,236					
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 1 バス停 6	名称	拠点:遠鉄西鹿島 バス停:横川、下 <sup>・</sup>		、二俣横町、秋里	P不矩美術館入口、鹿島橋 					
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		28.4									
増収策	【計画】 ・運賃箱データに。 ・小学生向けバス ・ナイスパス(ICが ・パーク&ライド・・ ・遠鉄ストアでのが 【実績】 ・3月にダイヤ改正・・ナーン・ ・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・	・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線バス P R。									
費用削減策	●事業者としての取組 [計画] ・デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで燃費改善を図るとともに燃料費の抑制につなげる。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。  【実績】 ・デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や事故の撲滅に努めた。 ・営業窓口の改編を実施して、間接部門の人件費抑制に努めた(平成30年6月に2つの窓口を1つに統合)。 ・60歳以上の乗務員の再雇用を強化した。また、人事部に設置された「運転者採用専門チーム」にて、採用活動の強化を図った。 ・バスに搭載している音声データやダイヤデータの注入方法、メモリーカード方式から金庫方式に変更したことにより、日常的なデータ入れ替えが可能と										
沿線市町の サポート	別紙のとおり										
利用実態	広域利用状況	(箇所)20	口程(km) 50 0000 (人)	1500	30 運行	· 均乗車密度(人/便) 可回数(回/日)					

		平成30年		<b>糸</b> 統別利	用実態(	公表シート)	<b>禄式2</b>						
系統名		秋葉線		事業者名		遠州鉄道株式会社							
四分 小上 いつ	起点	経由地	終点										
路線の状況	春野車庫	西鹿島駅	厚生会										
系統+口程	( k m)	26.7	輸送量(	人/日)	20.0								
平均乗車密度	(人/便)	4.0	運行回数	(回/日)	5.0								
ア共	学校	天竜高校、天	竜高校、天竜高校春野校舎、清滝中学校、光が丘中学校										
t to	病院	天竜病院、厚	生会										
<sup>人</sup> 点	商業施設												
况 施 況 設	その他	浜松市天竜区	区役所、遠鉄西	西鹿島駅									
収支率(%) (収益/費用)	45	.0	乗車人員	(人)		77,432							
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 1 バス停 7	名称	拠点:遠鉄西鹿島 バス停:横川、下 <sup>7</sup>		、二俣横町、秋野	不矩美術館入口、鹿島橋、天竜病院坂下							
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利)		22.5											
増収策	●事業者としての取組 [計画] ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線バス P R。 [実績] ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスパスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券(バス運賃+入館料等)を販売。												
費用削減策	・営業所の営業時・60歳以上の乗着 「実績」 ・デジタルタコグララ 減や事故の撲滅・営業窓口の改績・60歳以上の乗着・バスに搭載してい	7のデータを使って、 時間の変更や窓口 務員の再雇用制度 のから得られたデータ こ努めた。 最を実施して、間接 務員の再雇用を強	の閉鎖を行うことに 変の普及を進める。 対を、半自動的に 発部門の人件費抑 能化した。また、人間 イヤデータの注入	こより、間接部に ことにより、直接 加工するソフトを 即制に努めた (3 事部に設置され 方法、メモリーカ	門人件費の抑制を 人件費の抑制を 立活用して分析を 平成30年6月に た「運転者採用		導を実施。燃料費の削 った。						
沿線市町の サポート	別紙のとおり												
利用実態	広域利用状況アクセス拠点	(箇所)20	口程(km) 50 000 (人)	150	10 平	均乗車密度(人/便) 可回数(回/日)							

## 平成30年度運行分系統別利用実態(公表シート) 様式2

		十成30年	<b>及理仃刀</b> 。	<b>长枕列利</b>	用夫悲( 	公表シート	<u>`)                                    </u>	· 禄式2 ─────			
系統名		磐田天竜線		事業者名		遠	州鉄道株式会	社			
路線の状況	起点	経由地	終点								
正白が水・フィハハ	山東	新開	磐田駅			_					
系統‡□程	( k m)	21.7	輸送量(	人/日)	40.2						
平均乗車密度	(人/便)	5.1	運行回数	(回/日)	7.9						
ァ ア ク サ	学校	天竜高校、磐	田南高校、磐	田西小学校	Ż						
セサハ	病院										
人点	商業施設										
况 施 況 設	その他	県中遠総合所豊岡、二俣駅		设外、浜松市	5天竜区役2	小、JR磐田駅	!、遠鉄西鹿島	易駅、天竜浜名湖鉄道 			
収支率(%) (収益/費用)	60	.4	乗車人員	(人)			103,638				
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停10	名称	拠点:JR磐田駅、 バス停:山東、二・			寺谷上、火ノ見、	句坂中村、三ツ入	下、宝新道、西坂町、加茂川			
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利)		68.6									
増収策	●事業者としての取組 [計画] ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 [実績] ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスパスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券(バス運賃+入館料等)を販売。										
費用削減策 一番である。 一本である。 一本でする。 一をでる。 一をでる。 一をでる。 一をでる。 一をでる。 一をでる。 一をでる。 一をでる。 一をでる。 一をでる。 一をでる。 一をでる。 一をでる。	●事業者としての取組 [計画] ・デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで燃費改善を図るとともに燃料費の抑制につなげる。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。  【実績】 ・デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や事故の撲滅に努めた。 ・営業窓口の改編を実施して、間接部門の人件費抑制に努めた(平成30年6月に2つの窓口を1つに統合)。 ・60歳以上の乗務員の再雇用を強化した。また、人事部に設置された「運転者採用専門チーム」にて、採用活動の強化を図った。 ・バスに搭載している音声データやダイヤデータの注入方法、メモリーカード方式から金庫方式に変更したことにより、日常的なデータ入れ替えが可能となった。結果、データの注入に要する時間を削減した。										
サポート	別紙のとおり										
利用実態	広域利用状況アクセス拠点	₹(%) 100		150	30 運行	<sup>工</sup> 均乗車密度 行回数(回/日					

		平成30年	<b>度連行分</b> 為	<b>米</b> 統別利	用美態(	(公表シート)	禄式2				
系統名		磐田天竜線		事業者名		遠州鉄道株式会社	t				
	起点	経由地	終点								
路線の状況	山東	ららぽーと 磐田	磐田駅			_					
系統‡□程	( k m)	24.7	輸送量(	人/日)	83.1						
平均乗車密度	(人/便)	4.7	運行回数	(回/日)	17.7						
ア ア カ サ	学校	天竜高校、磐	田南高校、磐	· 田西小学校	<del>Σ</del>						
セサ┉	病院										
ス状況設	商業施設その他	ららぽーと磐田 県中遠総合所 豊岡、二俣駅	r舎、磐田市?	<b>殳所、浜松市</b>	5天竜区役)	所、JR磐田駅、遠鉄西鹿島駅	沢、天竜浜名湖鉄道				
収支率(%) (収益/費用)	55	.2	乗車人員	(人)		258,718					
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停10	名称	拠点:JR磐田駅 バス停:山東、二			、寺谷上、火ノ見、匂坂中村、三ツ入下。	、宝新道、西坂町、加茂川				
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		34.0									
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線バス P R。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスパスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券(バス運賃+入館料等)を販売。										
費用削減策	・営業所の営業時・60歳以上の乗続 (実績) ・デジタルタコグラブ 削減や事故の撲・営業窓口の改終・60歳以上の乗り・バスに搭載してい	7のデータを使って、 時間の変更や窓口 務員の再雇用制度 7から得られたデータ 戚に努めた。 記を実施して、間接 務員の再雇用を強	の閉鎖を行うこと 度の普及を進める タを、半自動的に 会部門の人件費担 能化した。また、人 イヤデータの注入	により、間接部はことにより、直接加工するソフトを印制に努めた(デ事部に設置され方法、メモリーな	門人件費の抑制 人件費の抑制 を活用して分析 平成30年6月 なに運転者採		の指導を実施。燃料費の とを図った。				
沿線市町の サポート	別紙のとおり										
利用実態	広域利用状況	元(%) 100 (箇所) <sub>20</sub>	口程(km) 50 0000 (人)	150	30 運	P均乗車密度(人/便) 行回数(回/日)					

		平成30年	[	<b>糸</b> 統別利	用美態(	公表シート)	様式2			
系統名	4	掛塚さなる台線	Ř	事業者名		遠州鉄道株式会社				
	起点	経由地	終点							
路線の状況	浜松駅	掛塚・ 駒場	横須賀 車庫			7				
系統+□程	( k m)	26.3	輸送量(	人/日)	38.2					
平均乗車密度	(人/便)	5.1	運行回数	(回/日)	7.5					
ァ ア カ	学校	浜松修学舎、	横須賀高校、	竜洋西小学	<u>*</u> 校					
セ <sub>枷</sub>	病院									
ス 点 状 振	商業施設									
況設	その他	磐田市福田支	を所、掛川市ノ	大須賀支所、	JR浜松駅					
収支率(%) (収益/費用)	55	.6	乗車人員	(人)		121,185				
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 1 バス停10	名称	拠点:JR浜松駅/ バス停:東部協働		ā、芳川西、芳川、	金洗西、鮫島西、新道、前嶋、福田営業所、福田	3交番前			
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利)		48.7								
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスパスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券(バス運賃+入館料等)を販売。									
費用削減策 沿線市町の	●事業者としての取組 【計画】 ・デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで燃費改善を図るとともに燃料費の抑制につなげる。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 【実績】 ・デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や事故の撲滅に努めた。 ・営業窓口の改編を実施して、間接部門の人件費抑制に努めた(平成30年6月に2つの窓口を1つに統合)。 ・60歳以上の乗務員の再雇用を強化した。また、人事部に設置された「運転者採用専門チーム」にて、採用活動の強化を図った。 ・バスに搭載している音声データやダイヤデータの注入方法、メモリーカード方式から金庫方式に変更したことにより、日常的なデータ入れ替えが可能となった。結果、データの注入に要する時間を削減した。									
サポート	別紙のとおり									
利用実態	広域利用状況アクセス拠点	(箇所)20	D程(km) 50 000 (人)	150	30 運行	平均乗車密度(人/便) 行回数(回/日)				

		平成30年		<b>糸</b> 統別利	用   表   思   し	公表シート)	<b>禄</b> 式2				
系統名	į	掛塚さなる台線	Ę.	事業者名		遠州鉄道株式会社					
四名 小山 い	起点	経由地	終点	<u> </u>							
路線の状況	浜松駅	掛塚	豊浜 郵便局			7					
系統+□程	( k m)	17.3	輸送量(	(人/日)	19.3						
平均乗車密度	(人/便)	4.4	運行回数	(回/日)	4.4						
ァ ア カ	学校	浜松修学舎、	竜洋西小学村	交							
セ tm	病院										
ス点 状 <sub>体</sub>	商業施設	5業施設									
祝 施 況 設	その他	磐田市福田支	ī所、JR浜松縣	沢							
収支率(%) (収益/費用)	56	.6	乗車人員	(人)		55,617					
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 1 バス停 9	名称	拠点:JR浜松駅 バス停:東部協働		ī、芳川西、芳川、	金洗西、鮫島西、新道、前嶋、福田営業所					
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利)		37.6					·				
増収策	【計画】 ・運賃箱データに。 ・小学生向けバス ・ナイスパス(ICが、パーク&ライ、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 イスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線パスPR。									
費用削減策	【計画】 ・デジタルタコグラン・営業所の営業時・60歳以上の乗和 【実績】 ・デジタルタコグラフ滅や事故の撲滅は・営業窓口の改編・60歳以上の乗利・60歳以上の乗利・60歳以上の乗利・第二のではいます。	・デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで燃費改善を図るとともに燃料費の抑制につなげる。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。									
沿線市町の サポート	別紙のとおり										
利用実態	広域利用状況アクセス拠点	(箇所)20	口程(km) 50 000 (人)	150	30 運行	· 均乗車密度(人/便) · 丁回数(回/日)					

		平成30年		<b>米</b>	用表態(	公表シート)	棣式2				
系統名	į	掛塚さなる台線	Ř	事業者名		遠州鉄道株式会社					
Phác a UND	起点	経由地	終点								
路線の状況	浜松駅	掛塚・ とつか	豊田町駅			7					
系統‡□程	( k m)	14.6	輸送量(	人/日)	39.9						
平均乗車密度	(人/便)	4.2	運行回数	(回/日)	9.5						
ァ ア カ サ	学校	浜松修学舎、	竜洋西小学校	交							
セ <sub>tm</sub>	病院										
点点	商業施設										
况 施 況 設	その他	JR浜松駅、豊田町駅									
収支率(%) (収益/費用)	55	.9	乗車人員	(人)		108,008					
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停 6	名称	拠点:JR浜松駅/ バス停:東部協働			金洗西、金洗東					
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		42.4									
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線バス P R。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、大会とでは、「会社では、会社では、「会社では、「会社では、「会社では、「会社では、「会社では、「会社では、「会社では、会社では、「会社では、「会社では、「会社では、会社では、「会社では、「会社では、「会社では、会社では、「会社では、会社では、「会社では、会社では、「会社では、会社では、「会社では、会社では、会社では、「会社では、会社では、会社では、会社では、「会社では、会社では、会社では、「会社では、会社では、会社では、会社では、会社では、会社では、会社では、会社では、										
費用削減策	・営業所の営業時・60歳以上の乗都 【実績】 ・デジタルタコグラフ減や事故の撲滅は・営業窓口の改総・60歳以上の乗移・バスに搭載してい	7のデータを使って、 時間の変更や窓口 務員の再雇用制度 のから得られたデーク こ努めた。 電を実施して、間接 務員の再雇用を強	の閉鎖を行うことに 変の普及を進める。 のを、半自動的に が が が が が が が が が が が が が	こより、間接部門 とにより、直接 加工するソフトを 即制に努めた (3 事部に設置され 方法、メモリーカ	引人件費の抑制 人件費の抑制が 活用して分析を 平成30年6月に た「運転者採用		実施。燃料費の削				
沿線市町の サポート	別紙のとおり										
利用実態	広域利用状況アクセス拠点	(箇所)20	口程(km) 50 000 (人)	150	30 運行	· 均乗車密度(人/便) · 丁回数(回/日)					

-		十1)以304	·反理1] 刀,	术机力小小	用夫忠()	公表シート)	1 末八之					
系統名	:	掛塚さなる台級	Ř	事業者名		遠州鉄道株式会社						
	起点	経由地	終点									
路線の状況	浜松駅	掛塚・ 千手堂	磐田駅			1						
系統+□程	( k m)	14.8	輸送量(	(人/日)	37.8							
平均乗車密度	(人/便)	4.3	運行回数	(回/日)	8.8							
ァ ア カ サ	学校	浜松修学舎、	竜洋西小学校	交 —————								
セ <sub>枷</sub>	病院											
人点	商業施設											
况 施 況 設	その他	JR浜松駅、磐	田駅									
収支率(%) (収益/費用)	57	.3	乗車人員	〕(人)		103,842						
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停10	名称	拠点:JR浜松駅/ バス停:東部協働			金洗西、小島中村、神明、万正寺、天竜、磐田石原						
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		27.7										
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線バス P R。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスパスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券(バス運賃+入館料等)を販売。											
費用削減策	●事業者としての取組 【計画】 ・デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで燃費改善を図るとともに燃料費の抑制につなげる。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 【実績】 ・デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や事故の撲滅に努めた。 ・営業窓口の改編を実施して、間接部門の人件費抑制に努めた(平成30年6月に2つの窓口を1つに統合)。 ・60歳以上の乗務員の再雇用を強化した。また、人事部に設置された「運転者採用専門チーム」にて、採用活動の強化を図った。 ・バスに搭載している音声データやダイヤデータの注入方法、メモリーカード方式から金庫方式に変更したことにより、日常的なデータ入れ替えが可能と											
沿線市町の サポート	別紙のとおり											
利用実態	広域利用状況	(箇所)20	口程(km) 50 000	150	30 運行	·均乗車密度(人/便) 可回数(回/日)						

		平成30年	F度運行分	系統別利	川用実態	(公表シート)	様式2			
系統名		内野台線		事業者名		遠州鉄道株式会社				
75.65 - 11.77	起点	経由地	終点							
路線の状況	浜松駅	_	内野台 車庫			T				
系統キ□程	( k m)	12.6	輸送量(	人/日)	79.3					
平均乗車密度	(人/便)	5.4	運行回数	(回/日)	14.7					
ァ ア カ サ	学校 	浜松北小学校	<u></u> Σ							
セ <sub>物爪</sub>	病院									
人点	商業施設									
况 施 況 設	その他	浜松市役所、	JR浜松駅、遠	鉄上島駅						
収支率(%) (収益/費用)	72	.1	乗車人員	. (人)		150,295				
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停 8	名称	拠点:JR浜松駅/ バス停:田町中央			犬線入口、内野台一丁目、内野台三丁目、内野	沿車庫			
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利)		41.2								
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線パスPR。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスパスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券(バス運賃+入館料等)を販売。									
	●事業者としての取組 [計画] ・デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで燃費改善を図るとともに燃料費の抑制につなげる。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。  [実績] ・デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や事故の撲滅に努めた。 ・営業窓口の改編を実施して、間接部門の人件費抑制に努めた(平成30年6月に2つの窓口を1つに統合)。 ・60歳以上の乗務員の再雇用を強化した。また、人事部に設置された「運転者採用専門チーム」にて、採用活動の強化を図った。 ・バスに搭載している音声データやダイヤデータの注入方法、メモリーカード方式から金庫方式に変更したことにより、日常的なデータ入れ替えが可能となっ									
沿線市町の サポート	別紙のとおり									
利用実態	広域利用状況アクセス拠点	(箇所)20	口程(km) 50 000 (人)	150	30 運行	均乗車密度(人/便) 可回数(回/日)				

		平成30年	没理仃刀	<b>长</b> 枕列列	田	(公表シート)	様式2			
系統名		内野台線		事業者名		遠州鉄道株式会社				
	起点	経由地	終点							
路線の状況	浜松駅	内野台 車庫	サンストリート 浜北		r	7				
系統‡□程	( k m)	13.8	輸送量(	人/日)	42.8					
平均乗車密度	(人/便)	4.2	運行回数	(回/日)	10.2					
ァ ア カ サ	学校	浜松北小学校	<b>交</b>							
セ゠	病院									
点	商業施設	<b>だ施設</b> サンストリート浜北								
祝 施 況 設	その他	浜松市役所、	JR浜松駅、遠	鉄上島駅						
収支率(%) (収益/費用)	55	.8	乗車人員	(人)		91,483				
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停10	名称	拠点:JR浜松駅/ バス停:田町中央 グリーンアリーナ入口	通り、尾張町、」		;状線入口、內野台一丁目、內野台三丁[	目、内野台車庫、妙蓮寺前、			
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		35.6								
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線バス P R。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスパスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券(バス運賃+入館料等)を販売。									
費用削減策	・営業所の営業時・60歳以上の乗着 「実績」 ・デジタルタコグララ 減や事故の撲滅・営業窓口の改績・60歳以上の乗着・バスに搭載してい	7のデータを使って、 時間の変更や窓口 務員の再雇用制度 のから得られたデータ こ努めた。 最を実施して、間接 務員の再雇用を強	の閉鎖を行うことに 変の普及を進めるこ タを、半自動的にか 芸部門の人件費抑 能化した。また、人員 イヤデータの注入ブ	より、間接部門とにより、直接 四工するソフトを 制に努めた (3 事部に設置され	引人件費の抑制 人件費の抑制 活用して分析 P成30年6月に た「運転者採用		指導を実施。燃料費の削 を図った。			
沿線市町の サポート	別紙のとおり									
利 用 実 態	広域利用状況アクセス拠点	(箇所)20	口程(km) 50	150	30 運	平均乗車密度(人/便) 行回数(回/日)				

		平成30年	度運行分	系統別利	用実態(	(公表シート)	様式2			
系統名	磐日	日市立病院福田	田線	事業者名		遠州鉄道株式会社				
75 (A) - 11 VP	起点	経由地	終点							
路線の状況	磐田駅 南口	_	豊浜 郵便局	]						
		9.4	輸送量	(人/日)	44.5	7				
平均乗車密度	(人/便)	3.4	運行回数	(回/日)	13.1	-				
ア 公	学校	静岡産業大学	<u>±</u>			1				
クセ加	病院	新都市病院								
ス焼	商業施設									
況 施 設	その他	磐田市福田支	京所、JR磐田	択						
収支率(%) (収益/費用)	54	.4	乗車人員	(人)		89,620				
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 1 バス停 5	名称	拠点:JR磐田駅 バス停:静岡産業		1、前嶋、福田交	番前、福田営業所				
広域利用状況(他市町へ跨ぐ利)		67.5								
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線バス P R。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスパスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券(バス運賃+入館料等)を販売。									
費用削減策	・営業所の営業時・60歳以上の乗都 【実績】 ・デジタルタコグララ減や事故の撲滅は・営業窓口の改総・60歳以上の乗扱・バスに搭載してい	7のデータを使って、 時間の変更や窓口 弥員の再雇用制度 のから得られたデータ こ努めた。 最を実施して、間接 弥員の再雇用を強	の閉鎖を行うこと をの普及を進める 9を、半自動的に 部門の人件費排化した。また、人 イヤデータの注入	により、間接部にことにより、直接加工するソフトを印制に努めた(3事部に設置され方法、メモリーカ	門人件費の抑制 人件費の抑制		を実施。燃料費の削			
沿線市町の サポート	別紙のとおり									
利用実態	広域利用状況	(箇所)20	口程(km) 50 000 (人)	150	30 運	平均乗車密度(人/便) 行回数(回/日)				

平成30年度運行分系統別利用実態(公表シート) 様式2											
系統名		引佐線		事業者名		遠州鉄道株式会社					
7540 - J 100	起点	経由地	終点								
路線の状況	浜松駅	浜松湖北 高校	気賀駅前		Γ	1					
系統‡□程	( k m)	18.6	輸送量(	人/日)	37.7						
平均乗車密度	(人/便)	6.5	6.5 運行回数(回/日) 5.8								
ァ ア カ サ	学校	静岡大学、浜松北高校、浜松市立高校、開誠館高校、浜松湖北高校									
セサハ	病院	聖隷浜松病院	聖隷浜松病院								
ス 点 状 塩	商業施設										
光 設	その他	浜松市役所、JR浜松駅、天浜線金指駅、天浜線気賀駅									
収支率(%) (収益/費用)	79	.5	乗車人員	(人)		96,781					
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 3 バス停19	拠点: JR浜松駅バスターミナル、天浜線金指駅、天浜線気賀駅 名称									
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利)		24.4									
増収策	●事業者としての取組 [計画] ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線パス P R。 [実績] ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスパスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券(バス運賃+入館料等)を販売。										
費用削減策	●事業者としての取組 【計画】 ・デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで燃費改善を図るとともに燃料費の抑制につなげる。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 【実績】 ・デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や事故の撲滅に努めた。 ・営業窓口の改編を実施して、間接部門の人件費抑制に努めた(平成30年6月に2つの窓口を1つに統合)。 ・60歳以上の乗務員の再雇用を強化した。また、人事部に設置された「運転者採用専門チーム」にて、採用活動の強化を図った。 ・パスに搭載している音声データやダイヤデータの注入方法、メモリーカード方式から金庫方式に変更したことにより、日常的なデータ入れ替えが可能となった。結果、データの注入に要する時間を削減した。										
沿線市町の サポート	別紙のとおり										
利用実態	系統キロ程(km) 輸送量(人/日) 150										

系統名		萩丘都田線		事業者名		遠州鉄道株式会社				
四分白の上2口	起点	経由地	終点							
路線の状況	浜松駅	_	染地台 三丁目							
系統キ□程	( k m)	12.3	輸送量(	人/日)	27.0					
平均乗車密度	(人/便)	5.4	運行回数	(回/日)	5.0					
ア共	学校									
フ・ セ ****	病院									
人点	商業施設									
况 施 設	その他	浜松市役所、JR浜松駅								
収支率(%) (収益/費用)	77	.0	乗車人員	1 (人)		65,520				
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 1 バス停 9	名称 拠点: JR浜松駅バスターミナル バス停: かじ町、元城町、市役所前、浜松城公園入口、常楽寺、上島西、萩丘、長池、三方原営業所								
広域利用状況(他市町へ跨ぐ利		8.7								
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスパスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券(バス運賃+入館料等)を販売。									
費用削減策	●事業者としての取組 [計画] ・デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで燃費改善を図るとともに燃料費の抑制につなげる。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。  【実績】 ・デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や事故の撲滅に努めた。 ・営業窓口の改編を実施して、間接部門の人件費抑制に努めた(平成30年6月に2つの窓口を1つに統合)。 ・60歳以上の乗務員の再雇用を強化した。また、人事部に設置された「運転者採用専門チーム」にて、採用活動の強化を図った。 ・パスに搭載している音声データやダイヤデータの注入方法、メモリーカード方式から金庫方式に変更したことにより、日常的なデータ入れ替えが可能となった。結果、データの注入に要する時間を削減した。									
沿線市町の サポート	別紙のとおり									
利用実態	系統キロ程(km) 50 150 広域利用状況(%) 100 アクセス拠点(箇所) <sub>20</sub> 300,000 乗車人員(人) 収支率(%)									

平成30年度運行分系統別利用実態(公表シート) 様式											
系統名	J	大塚ひとみヶ丘糸	泉	事業者名		遠州鉄道株式会社					
	起点	経由地	終点								
路線の状況	浜松駅	湖東高校・ ひとみヶ丘東	山崎			_					
系統+口程	( k m)	15.2	輸送量(	人/日)	61.8						
平均乗車密度	(人/便)	6.8 運行回数(回/日) 9.1									
ア共	学校	学校 浜松学院大学・浜松北高校・開誠館高校・浜松市立高校・浜松商業高校・浜松湖東高校 附属中学校・富塚中学校・神久呂中学校・附属小学校・富塚小学校									
セャ	病院										
ス 点 状 塩	商業施設										
流 設	その他	神久呂協働センター、浜松市役所、JR浜松駅									
収支率(%) (収益/費用)	90	.8	乗車人員	(人)		161,700					
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 1 バス停11	名称	名称 拠点: JR浜松駅バスターミナル バス停: 田町中央通り、尾張町、市役所前、鹿谷町、浜松北高、富塚、富塚西、狸坂、神田原、古人見東、山崎								
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		0.7									
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスパス(ICカード)へのオートチャージ(自動積増)の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスパス、定期券の出張販売及び路線パスPR。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスパスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券(バス運賃+入館料等)を販売。										
費用削減策	●事業者としての取組 [計画] ・デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで燃費改善を図るとともに燃料費の抑制につなげる。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。  【実績】 ・デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や事故の撲滅に努めた。 ・営業窓口の改編を実施して、間接部門の人件費抑制に努めた(平成30年6月に2つの窓口を1つに統合)。 ・60歳以上の乗務員の再雇用を強化した。また、人事部に設置された「運転者採用専門チーム」にて、採用活動の強化を図った。 ・パスに搭載している音声データやダイヤデータの注入方法、メモリーカード方式から金庫方式に変更したことにより、日常的なデータ入れ替えが可能となった。結果、データの注入に要する時間を削減した。										
沿線市町の サポート	別紙のとおり										
利用実態	系統キロ程(km) 輸送量(人/日) 150 150 150 150 150 100 平均乗車密度(人/便) アクセス拠点(箇所)20 300,000 東車人員(人) 収支率(%)										

平成30年度運行分系統別利用実態(公表シート) 様式											
系統名		気賀三ケ日線	!	事業者名		遠州鉄道株式会社					
D44年のより2日	起点	経由地	終点								
路線の状況	浜松駅	気賀四ッ角	三ケ日車庫								
系統キ□程	( k m)	29.3	輸送量(	人/日)	137.0						
平均乗車密度	(人/便)	7.1 運行回数(回/日) 19.3									
ア共	学校	静岡大学、聖隷クリストファー大学、浜松北高校、浜松市立高校、開誠館高校、浜松湖北高校									
セャロ	病院	聖隷浜松病隊	聖隷浜松病院、聖隷三方原病院								
人点	商業施設										
况 施 況 設	その他	浜松市役所、北区役所、三ヶ日協働センター、JR浜松駅、天浜金指駅、天浜気賀駅									
収支率(%) (収益/費用)	73	.3	乗車人員	(人)		451,492					
乗換可能な アクセス拠点等	拠点3 バス停19	名称	拠点: JR浜松駅バスターミナル、金指、気賀駅前 バス停: 田町中央通り、ゆりの木通り、元城町、市役所南、鹿谷町、浜松北高、六間坂上、住吉町、和合町、葵町、追 分、北星 中学入口、新豊院、根洗、祝田、引佐高校前、清水橋、気賀四ツ角、片町								
広域利用状況(他市町へ跨ぐ利		30.5									
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱から取得されるバスの全運行データを活用して、旅客動向に応じたダイヤを作成。 ・グループ共通ポイントカードと連携して、ICカード乗車券のオートチャージ(自動積み増し)の利用を促進。 ・小学生向けのバス教室を実施するとともに、バスの乗り方を説明したDVDを作成して、運行エリア内の小学校へ配布。 ・運行エリア内の施設と連携して、施設へバスで来られた方に対して、インセンティブを付与(ICカード読み取り機「トップタッチ」の活用。 【実績】 ・運賃箱から取得されるバスの全運行データを収集して、ビッグデータを半自動的に加工するソフトを活用して、現況を把握。それをもとに旅客動向に応じたダイヤを作成(平成30年3月にダイヤ改正を実施)。 ・ICカード乗車券のオートチャージ(自動積み増し)の利用を促進。 ・小学生向けのバス教室を実施、運行エリア内の小学校へDVDを配布。 ・浜松市美術館等と連携して、イベント時に施設へバスで来られた方に対して、入館料割引券等を進呈。 ・高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を強化。 ・定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを開始。										
費用削減策	●事業者としての取組 【計画】 ・デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで燃費改善を図るとともに燃料費の抑制につなげる。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 【実績】 ・デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や事故の撲滅に努めた。 ・営業窓口の改編を実施して、間接部門の人件費抑制に努めた(平成30年6月に2つの窓口を1つに統合)。 ・60歳以上の乗務員の再雇用を強化した。また、人事部に設置された「運転者採用専門チーム」にて、採用活動の強化を図った。 ・パスに搭載している音声データやダイヤデータの注入方法、メモリーカード方式から金庫方式に変更したことにより、日常的なデータ入れ替えが可能となった。結果、データの注入に要する時間を削減した。										
沿線市町の サポート	別紙のとおり										
利用実態	系統キロ程(km) 50 150 広域利用状況(%) 100 アクセス拠点(箇所) <sub>20</sub> 300,000 乗車人員(人) 収支率(%)										

## 平成28年度 遠州鉄道株式会社 補助対象系統路線図

